

# 平成 31 年度 大阪府立桜塚高等学校 第 1 回 学校運営協議会

令和元年 6 月 22 日 (土) 15:30~17:00

大阪府立桜塚高等学校 会議室

校 長

准校長

委 員 武庫川女子大学副学長、

岡町・桜塚商業団体連合会、豊中市社会福祉協議会福祉推進室次長、

大阪府立桜塚高等学校 PTA 会長、大阪府立桜塚高等学校定時制振興会会長、

尚和会会長、

事務局 教頭、事務部長、首席、指導教諭、書記

## 15:30~15:45 (司会:教頭)

### 1 校長、准校長 挨拶

校長：全定を含めた取り組みを進めていきたい。

准校長：今年着任したが、元々全日制で勤務していたため馴染みがある。

### 2 委員紹介及び事務局員紹介

### 3 実施要項他について

**資料1** 学校運営協議会 実施要項

→説明 (教頭より)

### 4 会長・副会長の選出

会長：武庫川女子大学副学長

副会長：豊中市立第三中学校・校長

## 15:45~17:00 (司会:会長)

### 5 報告

#### (1) 全日制、定時制の状況 (校長・准校長より)

**資料2** 桜塚高校 全日制と定時制の歴史

→今年度から全定合同管理職会議定例化 (2週間に1回程度)

**資料3** 全日制と定時制の状況

全日制：1学級減、3学年27クラスに

定時制：授業を見学すると、皆集中して取り組んでいる様子が見られる。

集会で話を聞いている態度も非常に良くて感心している。

(2) 平成30年度学校経営計画（校長・准校長より）

資料4・5 平成30年度 学校経営計画及び学校評価（全・定）

→全日制：地域の連携に取り組めた。

全定の取り組みを進めていきたい。

【ご意見・ご質問】

Q.大阪北部地震の際、どのような対応をしたか。

A. 全日制：桜塚高校の塀は高いということで、安全性を考えて年度内に全てフェンスになった。今後も一定の整備は必要。

（生徒の安全確保に関連して）教職員も含めた熱中症対策としては会議室にエアコンを設置した。また、今年から食堂にもエアコンを設置した。

定時制：車椅子を利用する生徒が使用する教室を一階に移動した。

停電が続き、帰り道が暗いので、当日は休校、懇談のための短縮授業期間中であつたが翌日は懇談を中止とした。

6 協議

(1) 平成31年度学校経営計画中期目標について（校長・准校長より）

資料6・7 平成31年度 学校経営計画及び学校評価（全・定）

→全日制：2 中期的目標 について昨年度からの変更点・追加点に関する説明

- 1.(1) 以前は生徒のスマートフォンを授業で利用していたが、今年度から新一年生全員にノートパソコン（Chrome book）を購入してもらった。  
作成したデータはすべてクラウドにあげるようになっている。  
Chrome book の導入に際し、生徒・教員対象の研修を実施した。  
国語・英語の辞書アプリを購入し活用している生徒も多数いる。

1.(7)図書館の機能整備

2.(1)道徳教育の推進

人権担当、生活指導部、指導教諭、社会科の教員の4人で相談しながら進める体制を取っている。

- 5.(2)教員からアンケートを取り、その結果も参考にしながら教育課程の検討を進めている。

(4)「情報部」を新たに創設。7人体制。

定時制：昨年度からの変更点・追加点に関する説明

1 めざす学校像

- 3.「多様な生徒に」という文言を追加

2 中期的目標

- (5)様々な面で支援が必要な生徒が多数在籍しているため、危機管理対応を急務の課題と考えている。首席が学習支援員などの手配や時間割の調整を行っている。

## 【ご意見・ご質問】

Q. 高校生のうちに、自分が将来的にどのような人間になりたいのか考え、話し合いをする時間を週一回でも（LHRなどを活用し）持つべきではないかと思う。18歳から選挙権を得ている意味を考え、自分を見つめなおすということを高校でぜひして欲しい。最近の学校教育は受験や進学のための勉強に終始しているように感じるため、そのような機会を高校教育の中に取り入れることは出来ないか。

また、桜塚高校の卒業生には人の為に尽くす人が多いと感じている。そのような伝統を受け継いでいって欲しい。（定時制振興会会長より）

A. 新課程では、アクティブラーニングなど生徒が主体となって取り組む活動を多く取り入れる流れになっている。生徒の主体性を引き出せるような授業設定が出来ればと思う。現在は、総合的な探求の時間において生徒同士が話し合い物事を決定するという機会を設けている。（校長より）

定時制には、中学時代不登校だったが、次第に社会に参加する意欲と自信を身に着けている生徒も在籍している。今現在多くの人を借りているからこそ、今後それを返していきたいと生徒が思えるような教育を進めていきたい。（准校長より）

28プロジェクト（28歳の自分を考えて目標設定をする）の例もあり、人生設計を考えることは大切。最近では、全国学力・学習状況調査に「アクティブラーニング（自発的な学習）をしているか」という質問項目が出てきた。調査結果としては、公立学校の方がアクティブラーニングをしているところが多い。やはり自ら学ぶ授業が求められていると感じる。（会長より）

Q. 今年度も8/16～19の日程で、東北地方へのボランティア活動（ボランティアバス）を実施するので協力をお願いしたい。

昨年のお阪北部地震、台風の際にボランティアバスの参加者が率先して動いたということを知っており、二重の効果が生まれている。

また、定時制における就労支援の取り組みについては、窓口だけでなくこちらから話を聞きに行くという対応ができる。（社会福祉協議会より）

A. 定時制では、今年度よりスクールソーシャルワーカーの来校日が増加し、お世話になっている。ボランティアバスは昨年度も参加した。付き添いの教員の参加が難しいが、今年度も付き添い教員の確保ができたので参加生徒の募集を始めたところだ。（定時制より）

今クラスで案内を掲示し参加生徒を募っている。

大槌高校が100周年ということで、二年生は修学旅行で東北に行き民泊をする予定。

（全日制より）

(2) 令和2年度教科用図書選定について

資料8 教科書選定・採択の仕組み

→今見本の教科書を各教科で見ている段階。(教頭より)

(3) その他

・桜塾(有料講座)実施要項

資料10 桜塾の運営システム(図解)

→システムが英・国と数・理で分かれているのは、数・理は受講生徒が集まりにくいので、尚和会が直接講師と契約し、生徒からの受講料を講師に支払うシステムにしているため。生徒は受講料を尚和会に直接振り込み、未払い者等も尚和会が管理している。受講人数が比較的少数でも開講できるのが利点。(校長より)

資料9 2019年度桜塾講座要項

→開講時間において、定時制の協力があり実施できている。

数学は多くの生徒が集まったので開講曜日を増やした。(指導教諭より)

桜塾の開講にあたり、学校に残る必要のある教員については勤務時間を後ろにずらして対応している。(校長より)

【ご意見・ご質問】

Q.生徒に直接受講料を振り込んでもらうのにあたって、尚和会では従来の口座とは別に専用口座を開設した。

出来れば、受講している生徒に最後の授業などでアンケートを取ってもらい感想を聞きたい。(尚和会会長より)

A. アンケートを取っているので講座終了後に送る。(指導教諭より)

・施設受け渡しに関する申し合せ事項

資料11 施設受け渡しに関する申し合せ事項

→ルールについて、毎年資料で申し合わせ事項を確認している。(准校長より)

昨年度まで担当の教員同士で申し合わせをしていたが、今年度より管理職会議で確認をしている。(校長より)

資料12 全日制組織図

→今年度から行っている管理職会議を組織図に追加している。頻度は二週間に一回程度。(校長より)

・全定行事予定表(資料13)

→次回日程・開始時間の決定

・創立時の校舎が完成した時の見取り図

→今後何かの参考に。二つの庭「恩露園」と「恵風園」の名前が逆ではないかという話を聞いている。見取り図の表記が誤っているか、当時の呼び名が誤っていた？(校長より)

次回(第2回) 予定 10月 17日 (木) 16時～